

新聞記者の問題点

- ◆ 採用試験難しい:細かい時事問題などのテストもある。予備校がある。
- ◆ 履歴:大学卒の採用が多数。概して理論的な基礎が乏しい。OJT。常識、良識の範囲で解釈する。
- ◆ 文系出身者が多数。理数に弱い。化学物質のリスクのとらえかたをまず知らない。
- ◆ 支局から本社に配属されたあと、半年、1年、長くて2年で担当を変わる。「浅く、広く」にはなる。
- ◆ 総合情報機関化などで忙しい一方。じっくり物事の本質を考えたり、学んだりする時間が乏しい。
- ◆ 依然、年功序列の色彩が強い。40歳前後で多数は第一線を離れる。蓄積を踏まえて含蓄のあるニュース記事を書ける第一線記者が少ない。